

— 第887回 九大原子核セミナー —

講師：橘基氏 (佐賀大学)

演題：中性子星の観測に関する最近の話題と高密度ハドロン物質

日時：7月15日(金) 16:00～

場所：理学部 物理大学院講義室 (理学部2号館2階2263室)

概要

近年中性子星の観測に関して、いくつかの注目すべき結果が出されている。これらは星の内部の物性(構成要素およびその構造)に大きな制限を与えると考えられ、非常に重要な情報となる。今回のセミナーではまず最近の中性子星の観測結果の紹介を行い、続いてそれらに関係すると期待される高密度ハドロン物質の相構造や有効理論について、我々の最近の取り組みを紹介する。

参考文献

A. Schmitt, S. Stetina and M. Tachibana, arXiv:1010.4243[hep-ph]

M. Mannarelli, M. Ruggieri and M. Tachibana, in progress

連絡先：九州大学 理学部 物理学教室 理論核物理研究室

TEL : 092-642-2111 (内線 8357)

蓑茂 工将 (minomo@phys.kyushu-u.ac.jp)

平成23年6月29日